

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 3 月 30 日 (2017.3.30)

【公開番号】特開 2015-214494 (P2015-214494A)

【公開日】平成 27 年 12 月 3 日 (2015.12.3)

【年通号数】公開・登録公報 2015-075

【出願番号】特願 2014-96390 (P2014-96390)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/97 (2017.01)

A 6 1 K 36/18 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 Q 19/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/97

A 6 1 K 35/78 C

A 6 1 K 47/14

A 6 1 P 17/00

A 6 1 K 8/37

A 6 1 Q 19/08

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 2 月 23 日 (2017.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ハスエキスと、(B) ジペンタエリスリトールと脂肪酸とのエステル化反応生成物と、を含む経皮投与用組成物。

【請求項 2】

前記 (A) ハスエキスがハス胚芽エキスである、請求項 1 に記載の経皮投与用組成物。

【請求項 3】

前記脂肪酸がラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、オレイン酸、リノール酸、リノレイン酸、リチノレイン酸、イソステアリン酸、及び 12 - ヒドロキシステアリン酸からなる群から選択される 1 種である、請求項 1 又は 2 に記載の経皮投与用組成物。

【請求項 4】

前記 (B) エステル化反応生成物がトリポリヒドロキシステアリン酸ジペンタエリスリチルである、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の経皮投与用組成物。

【請求項 5】

肌の透明感、肌の弾力、及び肌の柔らかさからなる群から選択される 1 種以上を改善するためのものである、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の経皮投与組成物。

【請求項 6】

化粧品（ただし、医薬部外品を含む）である、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の経皮投与用組成物。